



2020年11月16日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**慶應義塾大学 新川崎(K²)タウンキャンパス オンラインセミナー
『いよいよ産業に応用されるリアルハプティクス技術』を開催
(開催日：2020年11月27日)**

慶應義塾大学新川崎(K²)タウンキャンパスでは2020年11月27日(金)、ハプティクス研究センターによるオンラインセミナーを開催いたします。今年度のテーマは『いよいよ産業に応用されるリアルハプティクス技術』です。国際展示会出展に際し報道番組に取り上げられるなど、今注目を集めている力触覚を用いた遠隔PCR検査システムは、まさにこの技術を基盤としています。この技術を世界で初めて実現した慶應義塾大学ハプティクス研究センターと、その実用化に邁進する慶應義塾大学発ベンチャー モーションリブ株式会社、そして企業との共同研究事例など3部構成でご紹介いたします。

1. 趣旨

少子高齢化を迎え、また全世界がコロナ禍の中で日本が継続的に発展する為には、労働力を補う為のロボット等、先進的な技術開発や機械を社会に導入し続けることが喫緊の課題となっています。人間の五感である視覚、聴覚に加え、触覚として力加減等の制御を可能とするリアルハプティクス技術をロボットや機械に用いることで、人間のような優しく繊細な動作を実現します。本セミナーではこれらの技術とその応用事例についてご紹介いたします。

2. 開催概要

慶應義塾大学 新川崎(K²)タウンキャンパス オンラインセミナー

『いよいよ産業に応用されるリアルハプティクス技術』

ウェブサイト：<https://www.k2.keio.ac.jp/press/20201127-k2seminar.html>

日時：2020年11月27日(金) 13:30～15:30

会場：オンライン (Zoom)

入場料：無料 (事前申込制)

主催：慶應義塾大学、川崎市 (経済労働局)

内容：第1部 「リアルハプティクス技術の産業展開」

(慶應義塾大学 特任教授 大西公平)

第2部 「リアルハプティクス技術と複合現実技術を用いた袋状食品包装の
空気漏れ検査システムの開発」

(株式会社情報システムエンジニアリング 田中一行)

第3部 「AbcCoreを用いたセンシングと遠隔操作」

(モーションリブ株式会社 溝口貴弘)

「川崎市の取り組み」

(川崎市 経済労働局 イノベーション推進室)

※プログラムの詳細は、参考資料やウェブサイトをご覧ください。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは、文部科学記者会、科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

【本イベントのお問い合わせ】

慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス事務局

Email : k2tc@info.keio.ac.jp ウェブサイト : <https://www.k2.keio.ac.jp>

SNS Facebook : <https://www.facebook.com/keiok2>

YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCVd4vbuB_3vUoeu-49J_-dg/

Instagram : @keio_k2

【本プレスリリースの配信元】

慶應義塾広報室（担当：宮崎）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp ウェブサイト : <https://www.keio.ac.jp/>



新川崎・創造のもり 慶應義塾大学 新川崎 (K2) タウンキャンパス

オンラインセミナー



いよいよ産業に應用されるリアルハプティクス技術

慶應義塾大学 新川崎 (K2) タウンキャンパスでは、川崎市との協定のもと、産学官地域連携を目指し、多方面にわたる先端的研究を推進しています。今できること、近未来に実現できることを、課題とその解決策などについてご紹介し、参加者と共有します。
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえオンライン (Zoom) で開催いたします。

2020年 **11月27日** (金) 13:30 ~ 15:30

事前申込制
無料

01

13:30 ~ 14:10 リアルハプティクス技術の産業展開

大西 公平 慶應義塾大学 特任教授
ハプティクス研究センター 副センター長



リアルハプティクスを適用することで、人間でしかできないと考えられてきた作業の自動化が視野に入ってきた。例えば、対象の変動が大きい作業や緻密で高度な経験が求められる作業はこれまで自動化が難しく、熟練作業者に頼らざるを得なかった。働き方改革を少子高齢化社会で進めていくためには製造業においてどのように自動化を進めていけばよいのか、そして我が国独自のリアルハプティクス技術がどのような役割を担うのか等を論じる。

02

14:10 ~ 14:40 リアルハプティクス技術と複合現実技術を用いた 袋状食品包装の空気漏れ検査システムの開発

田中 一行 株式会社情報システムエンジニアリング
Innovation Planning & Promotion Division 専任マネージャー



スナック菓子などの袋状包装食品は、物流工程で微細な穴が開き充填されていた空気が漏れだすことがあります。工場であれば大規模な検査機器を導入してチェックできますが、多種多様な商品を扱う物流現場ではそれができないため、属人的な手作業で検査をしているのが実情です。属人的な手作業から生じる様々な課題の解決として、リアルハプティクス技術と複合現実技術を用いた作業者の熟練度やモチベーションに左右されない検査システム開発の取り組みをご紹介します。

03

14:40 ~ 15:10 AbcCore を用いたセンシングと遠隔操作

溝口 貴弘 モーションリブ株式会社 代表取締役 CEO



本セミナーでは慶應義塾大学理工学部で開発したリアルハプティクスを実装するコントローラ「AbcCore」のご説明と、技術応用として力覚センシングによるデータ解析事例、力覚の伴った遠隔操作での作業事例についてご紹介致します。セミナーでご紹介する装置構成例等をモデルに AbcCore のご利用イメージをもって頂ければと思います。

15:10 ~ 15:25 質問にお答えします

15:25 ~ 15:30 川崎市の取り組み 川崎市 経済労働局 イノベーション推進室

お申込み <https://www.k2.keio.ac.jp/>

QRコードよりアクセス



問合せ先 慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス事務局

主催 川崎市・慶應義塾大学

協力 公益財団法人 川崎市産業振興財団 川崎信用金庫

✉ k2tc@info.keio.ac.jp


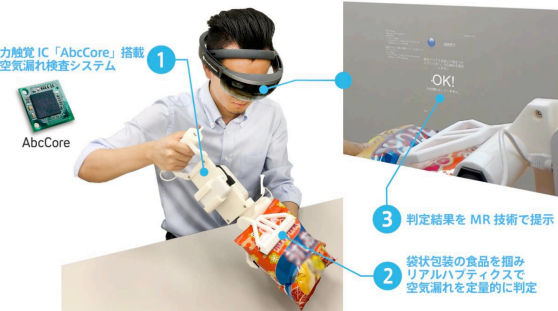
f keiok2

慶應新川崎タウンキャンパス 検索

慶應義塾大学 ハプティクス研究センター特設ページにてイベント情報、パネル展示、プレスリリース、デモ（動画）紹介をしています。

<https://www.k2.keio.ac.jp/press/haptics-c.keio.html>

【プレスリリース】

<p>リアルハプティクスによる力触覚伝送を有する遠隔 PCR 検体採取システム (2020年9月10日)</p>	<p>リアルハプティクスと MR（複合現実）技術を用いた、袋状食品包装の空気漏れ検査システム (2020年6月18日)</p>
	
<p>動画：https://youtu.be/yhS4OR5C3nY</p>	<p>動画：https://youtu.be/r4RvEM8xYIM</p>

【技術紹介】

YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCVd4vbuB_3vUoeu-49J_-dg/

 <p>Cyber Bike</p>	 <p>身体感覚を伝送する双腕型ロボット</p>	 <p>力触覚通信ハンド</p>
<p>サイバーバイク</p>	<p>身体感覚を伝送する双腕型ロボット</p>	<p>力触覚ハンド</p>
 <p>インテリジェント・ロボットハンド</p>	 <p>油圧駆動建設重機へのリアルハプティクス技術応用</p>	 <p>ゴロニャン</p>
<p>身体感覚を伝送する双腕型ロボット</p>	<p>油圧駆動建設重機へのリアルハプティクス</p>	<p>ぬいぐるみロボット「ゴロニャン」</p>